

より信頼され役に立つ 協会を目指して



平成23年10月1日

公益財団法人島根県消防協会

会長 松浦 嘉昭

本年4月1日、島根県消防協会は公益法人として認可を受け、新しい一歩を踏み出しました。そして私は、公益法人化した協会の初代会長を務めさせていただくことになりました。誠に光栄に思い、同時に大きな責任を感じています。

本年は、私たち消防、防災にかかわる者にとって、忘れてはならない年になりました。いうまでもなく2万人近い死者、行方不明者を出した東日本大震災の発生した年としてです。地震、津波、さらに史上最悪といわれる福島原発の大事故は記憶に生々しく、対応は現在も進行形です。

この場を借りて、大震災でお亡くなりになった皆様に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また消防使命に殉じられた同志に哀悼の心とともに深い敬意を表したいと思えます。

この東日本大震災は、これからの日本のありようを変えるといわれるほど大きな出来事でした。国民の安全、安心に対する関心は、間違いなく高まり、「消防」の存在感とそれに対する期待はきわめて大きくなっています。私たちはそのご期待に応えていかなければなりません。いっそう大きな責任を感じるゆえんであります。

当協会は、このような考えのもと、消防職・団員が地域を守るための活動を心置きなく行うことができるよう、そして地域の安全、安心を支えるのに十分な力、技術を身につけることができるよう、最大限の努力をしていかなければならないと思っています。

私は、より信頼され役に立つ協会を実現すべく、その先頭に立って全力で進む決意です。多くの課題もありますが、皆様方の温かいご理解と力強いご支援をどうぞよろしくお願いいたします。